

リフレクションカード 2017年度前期

学科	生活創造学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
コミュニケーション展開	2	前期	選択	はい	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>平和で幸せな地域の実現と、幸せな社会はコミュニケーションの成否にかかっている。社会人となる学生には良い社会の形成に関わるという責任と自覚を持って授業に臨むよう学生に求めてきた。シラバスに記載したように「応用学習としての聞き書きの実践」はおおきな成果を生んだ。評価アンケートの結果をみるとおおむね達成できたと思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成の評価の根拠は定期試験の内容である。しっかりと授業者の求める論点(聞き書きの実践力)に従って書かれている学生が多く、授業者の意図をよくくんで内容を理解していることがわかる。(客観的データとして学生の成績平均を参照して頂ければ分かる)授業アンケートの集計結果も満足のいくものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度の取り組みでもあったが学生が達成すべき目標を3点シラバスに記載しているが、授業のはじめに説明しておいたこともあり、学生の自己評価および授業者の目から見ても満足のいくものであった。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>スマホ時代の真ん中にいる学生たちには言葉による講義だけでは集中力が続かないことは経験上理解している。その為に毎回の授業では映像を見て考える時間を取っている。アンケート結果をみるとこれは概ね好評である。ただ学生らの意見の中には出来るだけ授業者の話をききたいという要望もあるので今後この点を改善して新たな方法を試みてみたいと考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>昨年同様に概ね年度当初の授業目標は達成したものと考えている。しかし多様性と個別化を体現している現代の学生のニーズに対応してグループワークや発見学習など多彩な講義時間の運営方法の工夫とさらなる知恵を出していく必要性を痛感している。今回最後の学科生になる学生に今後の母校への愛校心を形成したいと思ったが概ね達成できたと思っている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	生活創造学科
氏名	領木 信雄

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
コンピュータ・サイエンスⅡ	2	前期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>コンピュータやネットワークの操作ではなく仕組みについて多く扱う科目であるので、単に解説を追うだけでなく、学生が実際に手を動かして計算したり手順を確認したりすることで理解へつながるようにした。また、それが具体的にどのように利用されているかについても実例を多く挙げて紹介し、理論だけにとどまらないよう、理論と実際の結びつきがわかるよう工夫した。さらに、小学校から大学までの授業の中で情報系科目で扱っていることの位置づけを確認した。毎回シートを配布して質問やコメントを回収し、授業が一方向的にならないようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な成績の平均値は79点、再試験となったのは1名であった。毎回の小レポートと期末のレポートから評価した。再試験の1名の学生以外は全てのレポートを提出していた。</p> <p>学生による到達度自己評価においては、すべての項目で「まあまあそうだと思う」以上を大半が選択していた。2年生の授業ということもあり、パソコンの具体的な利用についてはなくやや抽象度の高い仕組みの理解を問う内容となっているので、抽象的な仕組みと具体的な利用例がつながって理解できるように工夫を重ねる必要がある。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1. CP・カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は一般教育科目の選択科目である。身につけるべき「短期大学士としての教養」を扱う科目として、また、カリキュラムツリーにおいて「応用」の段階を担当する科目として、内容的に妥当であると考えます。</p> <p>2. DP・行動目標からみた内容的妥当性 特に「情報に関する基礎的な知識と理解を有している」「社会で自立して働き生活していくために必要な基礎的な実務能力」について、内容的に妥当であると考えます。</p> <p>3. まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均値が3.1であった。課題への取り組みは毎回あるので、グループワークなど、それについて話し合い・発表などの機会を設けるようにしたい。</p> <p>授業の質評価において「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値が3.3であった。毎回シートを配布し授業へのコメントや疑問点を書いて提出してもらっているため、それをより活用してもらえようようにしたい。</p> <p>また、復習を行なっている学生が多くないことが分かった。復習すべきポイントを分かりやすく伝えるよう工夫したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>レポートの提出状況も全体的に良好で、平均点も高かった。内容の位置づけ・意味づけなどに工夫をし、また、復習しやすいようにして、疑問点を解決できるようにしたい。</p> <p>昨年度の反省を踏まえて内容を取捨選択し、より広いテーマを扱うことができた。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	生活創造学科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネスレポーティング基礎	2	前期	必修	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講動機は次の通り。①必修科目である87.5%、②資格取得に必要である4.2%、③関心のある内容である12.5%、④単位数を確保する20.8%、 ・学科における必修科目である。 ・予め、初学者の受講を想定して、配付資料の準備をした。 ・事業報告の種々の事例に触れることで、営利・非営利、規模の大小を問わず、事業活動の遂行とその過程および結果の説明責任がいかに担保されているかを確認するように促した。 ・実際の企業や自治体等の事業報告、財務報告をインターネット経由で入手し、内容の概略についての考察を解説した後、各自の視点での解釈を問う行う形で進めた。 ・授業で示された資料検索の手順や、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験を経ての成績評価は、平均76.3点/100点であった。所定の課題が未提出のため再試対象となった者が1名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.3で最も高いスコアであった。 (1)自分なりの目標を達成した ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値2.7で最も低いスコアであった。 (8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた 					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学科のDPの態度(DP4)、技能表現(DP5)の基礎部分を担う必修科目として開講している。 ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、内容的妥当性に問題はないと考える。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは2.8～3.3であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかったが、初学者向けの科目であるので特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照するなどを促すことも学習の深耕に資すると思われる。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	生活創造学科
氏名	加来 卯子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ファッションと生活	2	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>2年前期の選択科目である。被服行動と個人、社会、文化との関連について具体的事例をもとに理解を促し考察する授業である。身近に存在するファッションを改めて見直し、関心が持てるよう授業を進めた。オリエンテーションにて授業への心構えや全体的な説明を行った。レポートや提出物を通して、学生と教員相互の関わりを構築した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>日常のファッションに関心を持つ学生が受講しているためか、受講者の多くが標準的レベルに達し、理想的レベル(概ね80点以上)に達したものは半数以上であった。オリエンテーションにおいて、授業の概要、評価について説明した。知識理解、技能表現については、概ね一定の基準に達していることが伺える。到達度自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」では、肯定的な回答が比較的多くみられた。コンピュータ室を使用し、必要に応じて画像検索を行い、学生たちの理解を深め、関心を促した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門選択科目」であり、本学科で学びを進めるための応用科目である。生活を営むうえで必要な知識を習得し、考え、まとめる力が必要である。各自の着衣についてのレポート提出により、関心の高さが徐々に増していくことが感じられた。課題に取り組むことにより、自己のファッションを様々な視点からとらえるため、内容には妥当であったと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業はパワーポイントによる説明の他、動画等を用いて行った。 また、新規の用語や図を調べる際に、コンピュータによる検索を行った。 与えられた課題について、自ら考え進める姿勢を養うことができるよう、授業の進め方に工夫が必要である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>専門応用科目にあたる位置づけから、知識理解については概ね達成できたが、少数の学生については課題を残している面も見受けられる。本科目は学生自身に関する身近な課題も多く含まれているため、より多くの学生が興味を持ち、考えを深められるよう授業の流れについて検討したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	生活創造学科
氏名	領木 信雄

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
マルチメディア展開	2	前期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年生後期の『マルチメディア基礎』に続く科目である。簡単なプログラミング・動画の編集・Webページの作成を主に扱った。例を多く取り上げ説明した後、各自の制作にとりかかる流れとした。作業の時間を多く取れるようにした。作業の時間には個別に質問を受け付け、また、毎回シートを配布して質問やコメントを回収し、授業が一方向的にならないようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された		やや達成された		やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は81点、再試験となったのは1名であった。3つの課題から評価した。再試験の1名の学生以外は全てのレポートを提出していた。学生による到達度自己評価においては、いくつかの項目で「すこしそうでないと思う」が選択されていた。カリキュラム改訂後の初めての開講であったため、授業をうまく進められていなかった部分があったと思われる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1. CP・カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は専門教育科目の選択科目である。「他者とつながる」ことを扱う科目として、また、カリキュラムツリーにおいて「ITを活用する力」を担当する科目として、内容的に妥当であると考えます。</p> <p>2. DP・行動目標からみでの内容的妥当性 特に「他者とつながるために、自分の考えや感性を表現し伝えるといった力をそなえている」について、内容的に妥当であると考えます。</p> <p>3. まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均値が3.1であった。課題について話し合い・発表などの機会を設けるようにしたい。 また、アンケートでは復習を行なっている学生が多くないが、課題を進めるために授業外の時間をかけているので、これが復習に相当しているとしてよいと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>レポートの提出状況も全体的に良好で、平均点も高かった。課題で制作したものをお互いに見られる仕組みがあることが望ましい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	生活創造学科
氏名	加来 卯子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ものづくり基礎	2	前期	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>2年前期の選択科目(実習)である。1年次の「服飾基礎実習」で学んだ基礎的な知識・技術をもとに、学生各々が関心を持ち応用発展させた作品を製作できるよう授業を進めた。</p> <p>全体的な説明を行った後、教育支援職員とともに机間巡視を行い、学生の質問に個別に対応し、状況を把握した。</p> <p>教材として、テキスタイル作品、織り・編み作品など、学生の感性が反映でき、生活の中で活かせるものを選択した。教材の選択は、学生の授業に取り組む姿勢や意欲へとつながると考えられる。</p> <p>各工程において、デザイン・製作面で各々が工夫・展開できるよう補助的な提案・指導を行った。毎時、授業の最後には、振り返りを行い、次回の準備として進めておくべきことを確認した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された	やや達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講者は、理想的レベル(概ね80点以上)に達していた。作品製作では、目標へ到達するまでの時間に個人差が生じるため、空き時間を利用して個別に対応した。技能表現に関しては、学生により若干の差がみられた。</p> <p>製作した作品は、授業内において発表し、学生の製作への意欲を促した。過去の製作作品の写真を参考に、意欲を高められた学生は、独自のアイデアを作品に表現する。自由記述の意見では、課題をこなすことが精一杯であるとの意見が伺える一方で、学びを応用して作品を製作した、普段しないことができて楽しかった、との記述が見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門選択科目」であり、1年次の学びを応用発展させた科目である。生活を営むうえで必要な知識および技術に関する内容も含まれている。ただ、以前と比較すると実習経験が少なく、技術が伴わない面も見受けられる。回数を重ねていく毎に関心の高さが増していくため、内容的には妥当であったと考える。今後も、個別の対応を重ねながら、丁寧な指導を心掛けたい。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業では、機織りの楽しさ、製作の楽しさを感じることが出来た、など、授業による気付き(おもしろさ)が見受けられる。 今後も学生と意見交換をし、良好な関係性を構築しつつ、授業を進めたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>専門応用科目にあたる位置づけから、知識および技能については概ね達成できた。作品によっては時間をかけて向き合うことが大切であるため、時間配分も含め、今後、検討していく必要があると思われる。 配布物等、わかりやすいものにし、個々に学べる体制をつくることの重要性も感じられる。 学生達が関心をもって授業に臨めるよう工夫したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	生活創造学科
氏名	木村 久江

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ものづくり基礎	2	前期	必修	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①「ものづくり基礎」は必修科目であるが、毎年、食に関心のある学生が受講する授業であったが、今年度は食に関心を持たない学生も受講しており、関心のない学生にも学修意欲を持たすことが必要である。アンケートの回答として「必須科目」が86%、「関心のある内容である」20%、「単位数を確保する」20%と分かれており、単位数を確保のためだけに「ものづくりの実習授業」は大変であることを繰り返し説明した。[授業に関心のある学生]と[単位数の確保するための学生]では、受講意欲や態度が違うため、人の話を聞く態度や人との接し方についても行動規範を教え、人と協調できるように何度も繰り返し説明し、大学生としての心を養うことに注力した。</p> <p>②1年生と2年生前期に食の基本や応用を修得し、「ものづくり基礎」として作成方法や計画を立て実践するためにすべての知識が応用できるように進めた。また、地域貢献活動に参加できるように心構えを何度も説明した。</p> <p>③授業前に図書館で文献や図書などまたは、インターネットで調べ、計画を作成してから授業に参加させた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された			やや達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①定期試験ではなく毎回のレポートを課題としている。成績としては大半が標準的レベルに達したが理想レベルに(概ね90点以上として)に達しているのは3名であった。</p> <p>②学生の授業評価アンケートから、「自分なりの目標を達成した」と回答に関しては平均値3.6、中央値4.0であった。すべての学生が「ものづくり基礎」の授業に関心があるわけではなく、「ものづくり基礎」に関心のある学生は原理を理解し、知識だけでなくものづくりに対しての創意工夫を行ったと考えられる。「関心意欲」に関しては平均値3.5、中央値4.0であった。「単位取得のため」だけに受講しているの学生にとっては、授業を受ける姿勢や態度についての行動規範を教え、授業に意欲が持てるように指導し、知識を伝えるようにした。また、授業に「関心のある」学生にとっては、知識を確認、修正したり新たに得ることができ、自信に繋がったと考えられる。また、意欲関心についても学びを深めたいと意欲を持つことができたと思える。そして、技能表現(DP5)に関しては、前期に地域貢献活動を行ったため、必要な技術が身につく、それぞれのコミュニケーション力や表現力をも実践で学修することができた。授業で身につけた知識を実践で体得したと考えられ、これらのことは、学生の自信に繋がったと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 「ものづくりの基礎」の授業は原理を理解し作成方法や計画を立てる為の基礎として修得した上で、実践としてすべての事柄が応用できる重要な位置づけの「必修科目」である。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 到達度自己評価から、学ぼうとする専門分野で必要となる技術の修得ができたと思える。また、これを用いて創意工夫し、自分なりの表現力を高められたとする評価が多かった。内容的には妥当と考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的には妥当であったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①「授業の質の評価」では、「単位数を確保する」ためだけの受講者に行動規範を教えることが多く、授業課題を与えることも困難な時があった。授業に関心のある学生には多くの課題を出すことができた。特に(4)の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなどの学生が参加する機会が作られていた」項目では平均値3.6、中央値3.0の評価で、地域貢献活動として発表する機会が授業に関心のある学生の自信に繋がるだけでなく、郷土愛を育む良い効果であると思われる。受講意識も高くなり学生と教員間の信頼関係が増すと思われる。また、(5)の「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」項目では平均値3.6、中央値3.0の評価で、作成方法や計画を変更せざるを得ない場合など学生とのコミュニケーションを図ってきた。それに加えてそれぞれの学生の理解度を把握したり、質問や手助けが必要な学生には適切な説明してきた。</p> <p>②今後も原理などの基本を修得した上で実践ができる授業を進めていきたい。</p> <p>③学術データベースの検索などは少なく、インターネットのHP検索などはアンケートに記載されていないがたくさん検索している姿を確認している。</p> <p>④学生の自由記載として地域貢献活動に参加して様々な年代や国の方と交流することができ、貴重な体験になり、良かったです。コミュニケーションをとる上で大切なことも学ぶことができました。更に、多くの人とコミュニケーションをとったり、アンケートに協力してもらっていい機会になった。ありがとうございました。と3名の記載があった。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①「ものづくり基礎」の授業で原理を理解し作成方法や計画を立てる為の基礎として修得した上で、実践としてすべての事柄が応用できる重要な位置づけの「必修科目」である。授業の達成度自己評価においても授業の課題以外に取り組んだ学習に関しても、オープンキャンパスのポスター作りなど、6件の内容が書かれており、授業以外の課題にも自ら取り組む姿勢は良い傾向であり、授業計画を立てて受講する学生が47%と高く、期待した修得ができたと思う。</p> <p>②授業を通じてDPにある、衣食住に関する基礎的な生活技術を修得し、今後のみずからの生活に創意を加えて活用することについても概ね達成できた。(地域貢献としての学外発表など)</p> <p>③地域貢献活動としての学外発表などで学生の自由記載として地域貢献活動に参加して様々な年代や国の方と交流することができ、貴重な体験になり、良かったです。コミュニケーションをとる上で大切なことも学ぶことができました。更に、多くの人とコミュニケーションをとったり、アンケートに協力してもらっていい機会になった。ありがとうございました。との記載があった。これらのことは、社会に出る前の学生にとって2度と経験できない貴重な体験となり、自信につながったと考えられる。</p> <p>④ 今後の改善点として、授業以外でも、学生の食に関する質問を受ける場を増やし工夫していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	生活創造学科
氏名	木村 久江

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用の調理 I	2	前期(後期)	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①2年生前期の「応用の調理 I」の授業は選択科目であり、フードコーディネーター資格取得を目指す学生には重要科目である。受講動機から見ると「関心がある内容である」42.1%、「単位数を確保する」63.2%、「必修科目」21.1%、「資格取得に必要である」10.5%、「友人が受講しているから」10%とに分かれ、「単位数の確保」の学生が「関心がある内容である」学生より多く、調理についての関心がある学生も多いが、卒業の為に単位数を確保しないといけない学生がいることが窺える。そのために、授業に熱心な学生と卒業単位取得のために受講する学生では意欲が違うため、同じ内容を何度も説明した。誤った操作を行っても注意されている意味が理解できず、何度も同じことを繰り返し説明した。</p> <p>②1年生の前後期の「基本の調理 I・II」の実習授業は、安全かつ衛生的に調理操作ができるようになったが、日常生活の中で調理に携わることが少なく調理経験が未熟なため、基本を再確認させ調理の応用ができるように努力した。</p> <p>③複雑な調理操作を体得させ、調理全体が上達することにより成功体験から調理に関する全てのことに興味を持たせ、実習授業だけでなく日常的に調理に関心を持つように進めた。</p> <p>④週に1回の実習授業のため、実習後には、復習の意識を高める為に授業で学習した料理を自宅で調理し、調理が日常的な行為であることを体得させることに努力をした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	やや達成された		達成された	達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①調理実習授業である為、定期試験ではなく毎回のレポート等を課題としている。学生全員が15回のレポートを提出し、最終的な成績としては、平均値は82点で82%が標準的レベルに達したが、その中で理想的レベル(概ね90点以上として)に達しているものは3名で全体の14%であった。</p> <p>②学生による授業評価アンケートから、知識理解(DP1)に関しては、平均値3.8、中央値4.0で調理の知識を確認、修正したり新たに得ることができ、それぞれの学生の自信に繋がったと考えられる。また、意欲関心に関しては、平均値3.5、中央値3.0で「応用の調理」の学びを深めたいと意欲がでてきたことが窺える。そして、技能表現(DP5)に関しては、平均値3.6、中央値3.5で調理技術やおもてなしができる表現力が身につく、調理に関するトータルコーディネートが出来ることは学生の自信に繋がったと考えられる。</p> <p>③学習量の評価の課題以外に取り組んだ学習としての自由記載では「家で調理をした(ロールキャベツ)」と学生が記述しており、日常的に「調理の実践」の大切さを修得したと思われる。創作菓子を作る単元では、みんなと協力して進める事ができたことが自信となり、後期の授業に繋げていきたいとの前向きな意見があった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性である。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容的妥当性に到達度自己評価から、学ぼうとする専門分野で必要となる技術の修得ができたと思う。また、これを用いて創意工夫し、自分なりの表現力を高められたとする評価が多かった。内容的には妥当と考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的には妥当であったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質の評価では、いずれも平均点と中央値が接近しており大きな課題はないと思われる。 ②調理は実習授業の為、必ず師範の調理見本操作を視覚を通して理解させることに努力してきた。特に実習中は机間巡視を行い各班の理解度を把握したり、質問や手助けが必要な学生に適切な調理操作を説明し、コミュニケーションを図ってきた。今後も安全かつ衛生面に留意し、授業を進めていきたい。ただし、今回は単位取得のためだけに履修している学生がおり、行動規範を説明する回数も多く、大学生としての落ち着いた授業に持ち込むまでかなりの時間を費やした。 ③学術データベースの検索は利用者が少なかったが、インターネットのHP検索などは、アンケートに記載されていないが利用する姿を確認している。今後はさらに図書活用者を拡大したい。 ④学習量の評価における、個別コメントにおいても、家庭で実際に料理を作ったとの記述が見受けられ、「衣食住における基礎的な生活技術」を得てそれを自分の創意を加えて実践できている学生もおり、授業の進め方も概ね妥当と考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①本授業は、選択科目であり、後期に行う「応用の調理Ⅱ」としての調理に関する創意工夫の基本事項を修得する重要な位置づけである。 授業の達成度自己評価においても、概ね平均値、中央値も3.5であり、期待した修得ができたと考える。 ②実習などを通じてDPIにある、衣食住に関する基礎的な生活技術を修得し、今後のみずからの生活に創意を加えて活用することについても概ね達成できた。(授業以外の家庭での料理の実践など) ③学習量の評価の課題以外に取り組んだ学習としての自由記載では「家で調理をした(ロールキャベツ)」と学生が記述しており、日常的に「調理の実践」の大切さを修得したと思われる。創作菓子を作る単元では、みんなと協力して進める事ができたことが自信となり、後期の授業に繋げていきたいとの前向きな意見があった。 ③今後の改善点として、授業以外でも、学生の食に関する質問を受ける場を増やし工夫していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度前期

学科	生活創造学科
氏名	加来 卯子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
服飾創造 I	2	前期(後期)	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>2年通年の必修科目である。ゼミナールとして位置づけられた授業であり、主に、1年次の「服飾基礎Ⅰ・Ⅱ」で学んだ基礎的な技術をもとに、服飾応用作品を製作できるような授業を進めた。全体的な説明を行った後、机間巡視を行い、学生の質問に対応するとともに、常に学生個々の状況を把握した。教材の選択は、学生の授業に取り組む姿勢・意欲へとつながると考えられる。今年度は「18～19世紀ヨーロッパにおける服飾」を題材とし、二人一組で製作に取り組み、デザイン面において工夫・展開できるよう補助的な提案を行った。授業の最後には、毎時、振り返りを行い、次回の準備として進めておくべきことを確認した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講者のほとんどが理想的レベル(概ね80点以上)に達していた。知識理解については、ほとんどの学生が達しているが、取り掛かりに個人差が生じるため、空き時間を利用して個別に対応した。技能表現に関しては、作品の難易度等が関係し、学生により差異がみられた。美術館に収蔵されている写真などにより造形への関心を深め、意欲を高められた学生は、独自のアイデアを作品に表現する。時間外における取組みも多少見られたが、根強い取組みにより一定の成果を残した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>「自分なりの目標を達成した」「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身に付けることができた」と回答する者が多くみられた。一方で、自由記述より、授業の課題で精一杯だったと回答する者が多く見られた。これらの意見を参考に今後の演習への指導に反映させたい。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>専門応用科目にあたる位置づけから、知識および技能については概ね達成できた。課題によっては時間をかけて向き合うことが大切であるため、時間配分も含め、今後、検討していく必要があると思われる。また、個々に学べる体制をつくることの重要性も感じられた。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>専門応用科目にあたる位置づけから、知識および技能については概ね達成できた。課題によっては時間をかけて向き合うことが大切であるため、時間配分の検討が必要である。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度前期

学科	生活創造学科
氏名	小池 順一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学	2	前期	選択	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生に興味を持ってもらうために、マンション賃貸借、近隣トラブル、結婚、離婚などできるだけ具体的に日常生活において身近な事例を挙げ、説明をした。身近なケースでもあり、説明も分かり易いことを心掛けたので、所期の目的は達成できた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成した」については、3,3であり、知識を新たに得ることができたかについては、3,5であった。課題レポートも、SまたはAという成績であったので、上記の目的はやや達成されたといえる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>法律に関する知識を得るだけでなく、考える力も持つことができるように授業を構成した。受講態度も良好であり、教養的な科目としては妥当であったと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生が興味を持てるようにより時事的なテーマを設定し、図書館の資料やインターネットを利用して自学自習できるよう授業を構成したい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>少人数の授業だったので、双方向の授業ができた。今後は、課題を事前に示し、学生の学習の後に、共に考えていくというアクティブラーニングの手法を取り入れていきたい。</p>
------------------------------	--